

非日常生き抜く術は

スイッチを押せば部屋が明るくなり、蛇口をひねれば水が出てくる。そんな当たり前の生活が突然、できなくなってしまう。名古屋で月にあつた災害時の避難生活を疑似体験する「レッドヘア中白サイバルキャンプ」。物資が限られた中で生徒は創意工夫で、10日間の備えをいかに保ち、暮らしていかなくてはならない。

(岡川 篤)



県中シエラに入り、就寝準備をする参加者たち。いちいち災害市役所の備蓄文化館、戸田川緑地にて

レッドヘア中白サイバルキャンプ。今年度は2015年の東日本大震災後、防災教育に取り組み、P.O.法人フリースペース（神戸市）が、他の民間団体や神戸市消防局とともに「レッドヘアサイバルキャンプ」を立案。レッドヘアは「サイバル」とは「生き残る」という意味。被災者や避難者のために必要な物資を準備し、防災教育に活用している。今年度は2015年の東日本大震災後、防災教育に取り組み、P.O.法人フリースペース（神戸市）が、他の民間団体や神戸市消防局とともに「レッドヘアサイバルキャンプ」を立案。レッドヘアは「サイバル」とは「生き残る」という意味。被災者や避難者のために必要な物資を準備し、防災教育に活用している。



東日本大震災の被災者を支援し、防災教育に活用している。今年度は2015年の東日本大震災後、防災教育に取り組み、P.O.法人フリースペース（神戸市）が、他の民間団体や神戸市消防局とともに「レッドヘアサイバルキャンプ」を立案。レッドヘアは「サイバル」とは「生き残る」という意味。被災者や避難者のために必要な物資を準備し、防災教育に活用している。

ラジオ、ライト 必需品

宮城・石巻の語り部 佐藤敏郎さん説く

イバルとは、どういった意味もなく、もちろん水も出ない。簡単に言うと、「生き延びなさい」ということ。生き延びなさい。あなたのために。被災者の語り部として、宮城・石巻の語り部である佐藤敏郎さんは、被災地の様子や、被災者の心づかいなどを、ラジオやライトなどの必需品について話している。被災地の様子や、被災者の心づかいなどを、ラジオやライトなどの必需品について話している。被災地の様子や、被災者の心づかいなどを、ラジオやライトなどの必需品について話している。

料理や睡眠工夫を/他者との協力鍵



空き缶炊飯に挑戦する参加者

炊飯器をなくした参加者が、空き缶炊飯に取り組んでいる様子。炊飯器をなくした参加者が、空き缶炊飯に取り組んでいる様子。炊飯器をなくした参加者が、空き缶炊飯に取り組んでいる様子。

最新鋭の炊飯器は、被災地の物資不足で手に入らない。参加者は、空き缶炊飯という工夫を凝らして食糧を確保している。炊飯器をなくした参加者が、空き缶炊飯に取り組んでいる様子。炊飯器をなくした参加者が、空き缶炊飯に取り組んでいる様子。



被災者同士で協力し、食料を共有している様子。被災者同士で協力し、食料を共有している様子。被災者同士で協力し、食料を共有している様子。

必要になるかもしれない。火種となるライターは非常に貴重で、30分ほどは必要。何とかが力を維持する。被災者の協力と連携が、生存の鍵となる。被災者の協力と連携が、生存の鍵となる。